

12/23 (火)

公明正大な会計

コリントの信徒への手紙Ⅱ 8章16～24節

私たちが携わっている豊かな寄付について、人にとにかく言われ
ないようにするためです。私たちは、主の前だけではなく、人の
前でも公明正大に振る舞うように心がけています。(20、21)

パウロがエルサレム教会の飢餓を救うために諸教会に献金を呼びかけていたと
き、コリント教会からは、パウロがそれらを「だまし取った」(一二16)という
非難の聲が上がっていました。それは全く根拠のない中傷でしたが、パウロはそ
のような疑惑を避けるため、誰の目にも公明正大に見えるように、会計担当者を
テトスだけでなく、さらに二人の兄弟を送り出しました(18、22)。複数の者た
ちが実務を担うことにより、疑いをかけられることのないように配慮したのです。
その送り出された兄弟は、「すべての教会で称賛されています」(18)とパウロは
保証します。私たちの教会でも、数名の方々が常に複数で会計実務を担っておら
れます。土曜日や礼拝後、人目のつかない場所で黙々と奉仕しておられる方々に
感謝するとともに、その働きがいよいよ祝福されるように祈りたいものです。